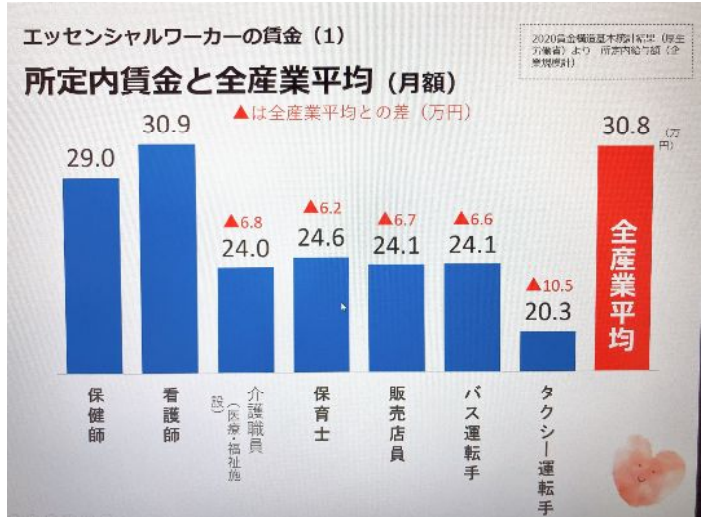


「すべてのケア労働者に大幅賃上げ」を実現させましょう！

1月15日(土)は「大幅賃上げをキックオフ集会」がZoomで行われました。

これ見てビックリしましたか？
ナント、介護職員の賃金が全産業平均月給よりも約7万円も少ないのです！
看護師が全産業平均月給と、ほぼ同額という結果！
組合としては、全職種の一人あたり月額4万円(時給者は250円/1h)のUPを要求してまいります！



また、賞与や定期昇給は不透明な評価などではなく、賞与にあっては一律2.0ヶ月以上の支給、定期昇給に関しては就業規則通りの昇給を引き続き団交などで実現要求していきます。

また法人幹部の自己満足無駄遣い企画「C1グランプリ」

法人が、まとも、自己満足無駄遣い企画「学術研究発表会C1グランプリ」を開催すると発表しました。「ケアNo.1、千歳会No1の頂点を決める発表会」として、職場での実践内容を発表し評価し法人運営にも採用していく、と謳っていますが、法人のお金や労力をこんな事で無駄遣いしないで、『地域住民に誇れる、まともな介護が提供できる人員体制の確保、職場・職員の声が職場運営に活かされる職場の仕組みや体制づくり、介護の質を向上させる職場運用システムの確立等』にこそ注力するべきではないでしょうか？

そんな中で『実践をまとめて発表する時間より、利用者さんへのケアが優先だろう』と職員からは苦笑が漏れており、さらに人材流出を加速させる危険性を高めるばかりです。

因みに、C1グランプリの会場は千歳会の多くの職場からは遠く離れた「東京・紀尾井フォーラム」が予定されています。会場レンタル料は「1時間あたり30,580円」で、「4時間でも122,320円」になり、さらに感謝祭の時のように無駄な旗やトロフィー、看板作成費、企画プロデュース費等を加えれば更に費用は増加します。一方で、賞与は交渉も拒否し1ヶ月以下では、職員の労働意欲を削ぐだけです。

千歳会労組は、こうした法人幹部の自己満足・無駄遣い企画は止めさせ、しっかりと職場の現状と向き合う事、地域住民にも誇れる『まともな、介護職場にする』ためにこそ、法人のお金と力を注ぐことを左理事長はじめ法人幹部に対して求めます。それが社会福祉法人として当たり前のあり方です。

千歳会で働く仲間の皆さん、ぜひ千歳会労働組合に入り、職場を改善する声を一緒にあげていきましょう。心より呼びかけます。